

◆ ことわざの意味と使い方について作文を書きます。「例」を参考にして、作文を二つ書きましょう。

アールズ謹製

〔例〕「泣き面にはち」

「泣き面にはち」とは、よくないことが重なるという意味です。たとえば、次のようなときに使います。

宿題のノートを忘れてしまって先生に怒られた。さらに、その日返されたテストの点数が悪かったので、家に帰ってお母さんにも怒られた。先生にも怒られ、お母さんにも怒られ、さんざんだった。このようなときに、

「今日のわたしは、泣き面にはちだった。」
と使います。

「どんぐりのせいくらべ」

どれも似ていて、すぐれていない。

「仏の顔も三度」

心の広い人でも、何度もひどいことをされたらおこる。

「ひょうたんからこま」

あるはずのないことが起こる。「こま」は馬のこと

「二階から目薬」まわりくどくて効き目がない。

「となりの芝生は青く見える」

同じようなもののな、人のものがよく見えてしまう。

作文

☐

音読

☐